

ティーチング・アシスタント(TA)の支援状況(内訳:大学院修士課程)

■ TA採用学生数の割合(平成18年度実績)(単位:人)

	国立	公立	私立	合計
修士課程	37.5%	15.7%	33.7%	34.9%
(TA数/全在籍者数)	(35,464/94,482)	(1,486/9,482)	(20,770/61,561)	(57,720/165,525)

出典：平成19年度大学院活動状況調査（平成20年12月）

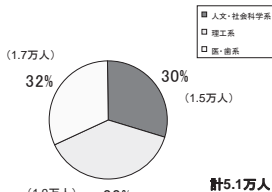
学生に対する経済的支援の全体像（大学院博士課程） *（ ）は全学生に占める対象者の割合

		大学院博士課程	学生数: 7.4万人 (国立) 学生数: 4.2万人 (公立) 学生数: 0.4万人 (私立) 学生数: 1.8万人
奨学金		(独)日本学生支援機構奨学金 貸与総人数: 1.6万人(29.7%) / 貸与総額: 218億円 (H19年実績)	1人当たり月額: 11.7万円
		●有利子奨学金専業: 1.4万人(27.4%) / 貸与総額: 203億円 【人数】 ・国立大学: 1.1万人(28.8%) / 貸与総額: 156億円 ・私立大学: 0.3万人(23.7%) / 貸与総額: 47億円	1人当たり月額: 12.2万円 【単価】 ・国立大学共通 8万、又は12.2万円から選択 【人数】 ・国立大学: 12.2万円 ・私立大学: 12.2万円
		●有利子奨学金専業 0.1万人(2.3%) / 貸与総額: 15億円 【人数】 ・国立大学: 0.06万人(2.1%) / 貸与総額: 10億円 ・私立大学: 0.04万人(2.9%) / 貸与総額: 5億円	1人当たり月額: 10.3万円 【単価】 ・国立大学共通 5.8, 10, 13, 15万円から選択 【人数】 ・国立大学: 10.4万円 ・私立大学: 10.1万円
	●常備優遇者選定免除(H18実績) 0.2万人/46億円	1人当たり269万円	
給与		●ティーチング・アシスタント(TA) 全体数: 1.6万人(21.8%) (H18実績) ・国立大学: 1.2万人(23.2%) ・私立大学: 0.3万人(18.4%)	1人当たり月額: 4.3万円(平成18年度国立大学特別奨学金)
		●リサーチ・アシスタント(RA) 全体数: 3.9万人(51.2%) (H18実績) ・国立大学: 3.0万人(57.6%) ・私立大学: 0.7万人(36.3%)	1人当たり月額: 5万未満62.8%、15万以上20.3% (参考:平成18年度7中・大ACOE採択国公立平均値10.3万円)
		●フューリング(日本学術振興会特別研究員奨励費(D)) 対象人数0.5万人(6.2%) / 110億円(H21予定額)	1人当たり月額20万円
授業料減免等		授業料減免 ●国立大学 1.5万人(29.3%) (実人数) / 55億円(H19実績) 【参考: 延べ人数】 2.5万人 ※前掲:後掲それぞれをあわせた人数。 ・全額免除: 0.7万人 / 17億円 ・半額免除: 1.8万人 / 38億円	1人当たり月額 ・全額免除の場合: 4.5万円(年額: 53.6万円) ・半額免除の場合: 2.2万円(年額: 26.8万円)
		授業料減免 ●私立大学 0.02万人(1.0%) (延べ人数) / 0.6億円(H20実績) * 国は定額の専攻費の1/2以内を補助(0.2億円) 【事業別内訳】(延べ人数) ・授業料減免: 0.003万人 ・給付奨学金: 0.01万人 ・教育ローン利子給付: 0.02万人	* 私立大学の数値は全てH20実績からの推計 1人当たり月額2.4万円 ・授業料減免の場合: 2.8万円(年額: 34万円) ・給付奨学金の場合: 2.6万円(年額: 31.2万円) ・教育ローンの利子補助: 0.3万円(年額: 3.5万円)
【参考】		博士全体延べ数: 9.2万人	
民間団体		民間団体等(公益法人・学校等)奨学金(平成18年度専業に占める奨励費調査) ●大学側 1.1万人/56億円 (貸与: 11.6%) (給与: 49.0%) (給与・貸与: 39.4%)	1人当たり 月額 4.2万円

大学院博士課程の分野別の在学者と学費(国立、私立)

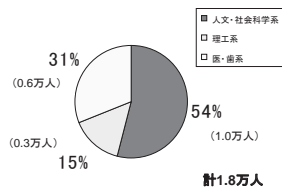
大学院博士課程において私立大学には国立大学の約35%の学生が在籍。そのうち、理工系の在籍者の割合を見ると、国立大学の人数(1.9万人)、割合(38%)と比べ、私立大学における人数(0.3万人:国立の約16%)、割合(15%)が小さい。

国立大学における分野別在学者数(大学院博士H20)

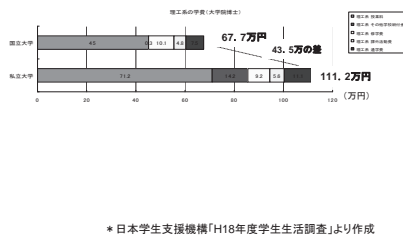
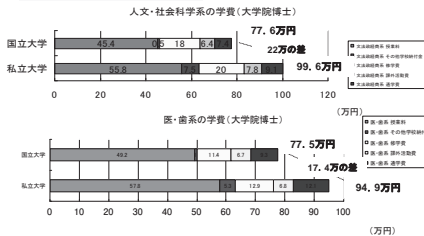


*平成20年度「学校基本調査」より作成

私立大学における分野別在学者数(大学院博士課程H20)



分野別の学費(国私比較)

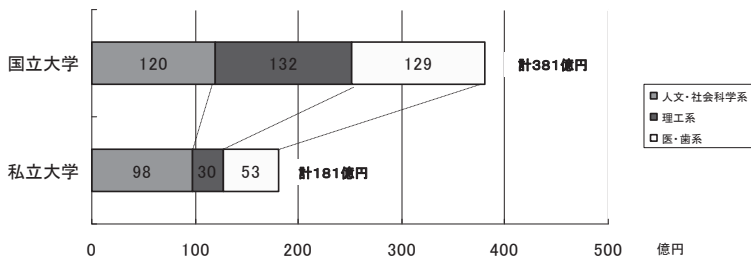


*日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」より作成

大学院博士課程の分野別の全学費(国私比較)

全博士課程生が負担する学費を比較すると、私立大学の全学費は国立大学の約0.48倍。分野別で比較すると人文・社会科学系は約0.82倍、理工系は0.23倍、医・歯系は0.41倍。

分野別の全学費(大学院博士課程)



*日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」及び文部科学省「H20年度学校基本調査」より推計

大学院博士課程の授業料減免(国立、私立)

国立大学で約29.3%の学生が授業料減免の対象。
私立大学では延べ人数でも1%の学生が授業料減免の対象。

■国立大学の授業料免除等について(文部科学省調べ)

国は経済的理由により、授業料等の納付が困難な者に対する授業料減免措置制度を設け、運営費交付金の算定において考慮。

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
のべ人数	2万1千人	2万4千人	2万5千人
実人数	—	1万5千人(29.3%)	1万5千人(29.3%)
免除実施額	50億円	53億円	55億円
学校数	76校	76校	75校

(注)1. 実人数は平成18年度から調査を実施。2. のべ人数は、前期、後期それぞれの免除者数の合計。
3. 学校数は、平成19年度に減じたのは大学の統合によるもの。

■私立大学の授業料免除等について(私立大学等経常費補助金交付実績より推計)

平成18年度より、私立大学等において、経済的に修学困難な学生を対象に実施している授業料減免事業等へ支援。

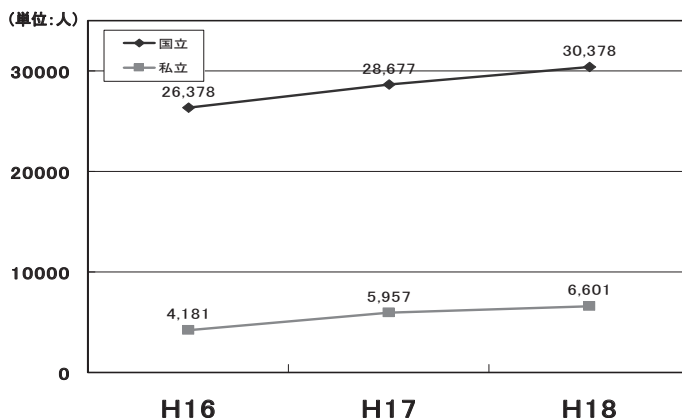
区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
のべ人数	—	0.02万人(1%)	0.02万人(1%)	0.02万人(1%)
免除実施額 (補助金額)	—	0.5億円 (0.2億円)	0.5億円 (0.2億円)	0.6億円 (0.2億円)
学校数	—	—	—	—

(注)1. 私立大学の数値は国の補助による数値のみ計上しており、大学独自のものは除く。2. のべ人数は、国庫補助を活用した授業料免除及び独自の奨学金等の対象者の合計。4. 国は事業費の1/2以内を補助。

経済的支援を受ける博士課程学生数の推移(リサーチ・アシスタント等給与型)

RA等の経済的支援を受ける博士課程学生数は増加傾向

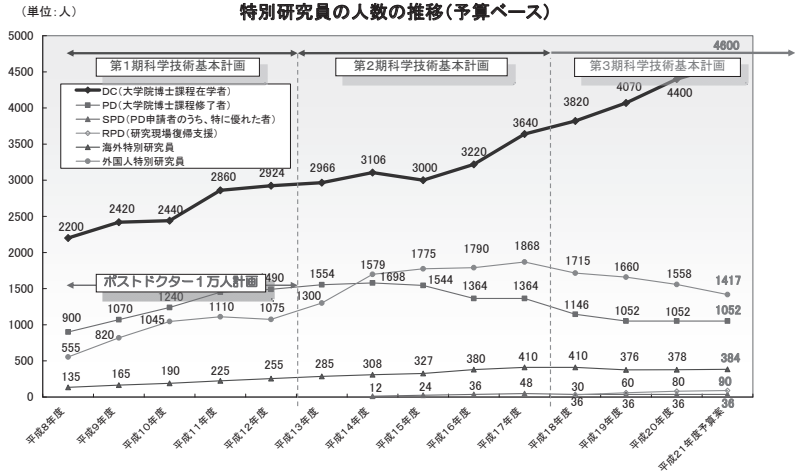
経済的支援を受ける博士課程在籍者数の推移



出典:大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査

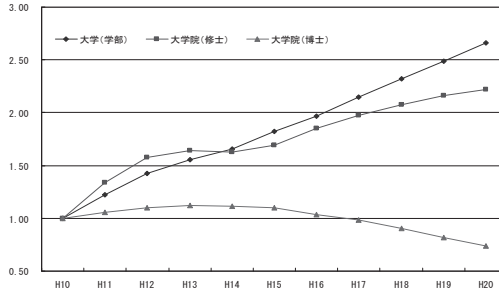
日本学術振興会特別研究員事業による大学院博士課程在学者への支援(フェローシップ)

大学院博士課程在学者の特別研究員は月額20万円、平成21年度は4,600人を予定。



日本学生支援機構奨学金事業の学種別貸与人員の推移

H16年度以降、大学院博士課程への貸与人員は減少傾向。



人(H10との比)	大学(学部)	大学院(修士)	大学院(博士)
H10	323,907人(1.00)	32,657人(1.00)	19,057人(1.00)
H11	396,294人(1.22)	43,644人(1.34)	20,165人(1.06)
H12	461,269人(1.42)	51,551人(1.58)	20,943人(1.10)
H13	502,718人(1.55)	53,726人(1.65)	21,356人(1.12)
H14	535,887人(1.65)	53,132人(1.63)	21,230人(1.11)
H15	590,065人(1.82)	55,324人(1.69)	20,907人(1.10)
H16	636,110人(1.96)	60,481人(1.85)	19,654人(1.03)
H17	695,631人(2.15)	64,484人(1.97)	18,687人(0.98)
H18	752,017人(2.32)	67,712人(2.07)	17,199人(0.90)
H19	805,532人(2.49)	70,579人(2.16)	15,543人(0.82)
H20	860,915人(2.66)	72,398人(2.22)	14,022人(0.74)

※1 平成20年度は、12月末現在の状況。 ※2 平成10年度を1.00とした伸び率。
 ※3 貸与人員は、無利子・有利子の合計。 ※4 大学院(博士)の基準適格者については、全員採用。

大学まで奨学金を借りた場合の返還状況

高校から大学学部まで奨学金貸与を受けた場合、要返還額は総額685万円。
 大学から大学院博士課程まで奨学金貸与を受けた場合、要返還額は総額1,000万円以上となる。

高校<3年間>	学部<4年間>	修士<2年間>	博士<3年間>	返還
<無利子> 月額3万5千円×3年 計 126万円	<有利子> 月額10万円×4年 計 480万円			要返還額 685万4千円 返還月額28,559円×20年 月収に占める割合10.9%
	<有利子> 月額10万円×4年 計 480万円	<有利子> 月額13万円×2年 計 312万円		要返還額 923万円 返還月額38,459円×20年 月収に占める割合14.7%
	<有利子> 月額10万円×4年 計 480万円	<有利子> 月額13万円×2年 計 312万円	<無利子> 月額12万2千円×3年 計 439万2千円	要返還額 1,434万9千円 返還月額59,787円×20年 月収に占める割合22.9%
	<無利子> 月額6万4千円×4年 計 307万2千円	<無利子> 月額8万8千円×2年 計 211万2千円	<無利子> 月額12万2千円×3年 計 439万2千円	要返還額 1,116万円 返還月額46,501円×20年 月収に占める割合17.8%

大学の設置形態等に関する欧米との比較

- ① アメリカでは、私立が大学数の7割以上を占めるが、学生数では州立大学(カルフォルニア大学パークレー校など)が7割近くを占める。
- ② ヨーロッパでは、大学数・学生数とも、国立(連邦制であるドイツは州立)が多くを占める。
- ③ なお、イギリスの私立はバッキンガム大学のみである。また、フランスでは私立大学は学位授与権を有しない。

	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ
大学数	752校 	2,579校 	169校 	94校 	376校
学生数 (学部・大学院のみ)	学部252万人 大学院26万人 	学部849万人 大学院252万人 	学部180万人 大学院56万人 	学部98万人 大学院52万人 	学生数199万人
学部進学率	49%	64%	57%	41%	37%
人口1000人 当たり学生数	22人 学部 20人 大学院 2人	37人 学部 29人 大学院 9人	39人 学部 30人 大学院 9人	23人 学部 14人 大学院 9人	24人 <small>【ドイツでは、大学院として独立した組織が存在しない】</small>
留学生受入数	9万1000人 学部 6万人 大学院 3万2000人	56万5000人 学部 23万6000人 大学院 26万人	24万9000人 学部 13万2000人 大学院11万7000人	21万人 学部 10万2000人 大学院10万8000人	19万人